

創る、巡る、贈る

 福島県大熊町

広報おおくま

2025

10

No.639

たにしどのおー

— 今月の表紙 —

なつ祭り in おおくま
(掲載記事9ページ)

特集 / 太平洋戦争の終結から 80 年

まちの話題 4 ページ | お知らせ 12 ページ | すこやかライフ 20 ページ

太平洋戦争の終結から80年

大熊町は、令和7年度大熊町戦没者追悼式・慰霊祭を10月10日に開催します。
今年太平洋戦争の終結から80年。2020年に町が復刻した「大熊町戦没者写真集」（初版1980年）には、太平洋戦争に召集され、亡くなった町民のうち189人の略歴が掲載されています。今号では、遺族の話を基に大熊町と戦争を振り返ります（追悼式の詳細は13ページに掲載）。



沢原善次郎さん
昭和18年9月入隊、満州にて終戦。ソビエト連邦（当時）イルクーツク州に抑留され、昭和27年12月に38歳で病死。
（大熊町戦没者写真集より）

町遺族会顧問 沢原善男さん

（沢原善次郎さんの長男 大川原・83歳）

父が出征したとき私は1歳半。母のお腹には妹がおりました。私も妹も父の記憶はまったくありません。



戦争の記録を見る沢原さん

母によると、父はスイカが好物で、スイカやウリを畑で作っていたそうです。赤紙（召集令状）が来たときも、井戸で冷やしたスイカを庭で家族と一緒に食べていました。そこに、役場の人だったのか「おめでとうございます」と。父は何も言わずに1人、うちの中に入ったそうです。ショックだったんでしょう。専業農家の一人息子でした。

筆まめな人で、戦地からよく手紙を送ってきました。妹の名前も、手紙を通じて「男だったら、女だったら」と伝え、「豊子」と名付けられました。

私は幼かったので、戦時中の記憶はあまりありません。ただ、B29の怖さは覚えています。グオーンってすごい音がするんです。動く人を見たら機銃掃射されるからと、警報がなったらすぐに、家の裏の防空壕に逃げ込むように教えられていました。山の向こうから、ドンドンと爆弾が落とされる音が聞こえていました。

父親のいない戦後はつらかったです。家族

かつて大熊町公民館が発行していた公民館報に遺族の声が掲載されていました。



上野留雄さん
昭和20年4月12日、沖縄周辺において戦死。20歳。
（大熊町戦没者写真集より）

「全世界の平和を」

戦後36年目にして弟留雄が特攻隊員として出撃の様子を戦友から知らされ、その感想をここに記させていただきます。

弟は去る昭和20年4月11日夕闇せまるころ出動命令を受け鹿児島県串良基地より同じ特攻機に高橋忠元二飛曹と、戦場で死にたいと望みながら破傷風のため病死した戦友の分骨を胸に抱き、今日までに私達遺族を探し続けてくれた元陸軍大尉高橋三徳さん（長崎県出身）はじめ多くの戦友達に見送られ沖縄海上に出撃し一時間後に敵艦発見の第一報が司令部に、そして一番機これより戦艦に、二番機巡洋艦にと次々と敵艦隊に突入し、弟達は「只今より空母艦に突入致します」と報じ南海に散ったことを知らされました。

私自身戦災体験者でもあり平和の大切さは切実に感じさせられます。日々の平和に恵まれている現在戦争の悲劇は二度と起こらない様全世界の永久平和を祈念いたします。

（一部抜粋して掲載。公民館報117号、昭和56年10月25日発行）



昭和30年代に入って、ソ連抑留で父と一緒に話をしていました。父は重労働の中で衰弱していったというものでした。家族の話をしていたそうです。「よくご家族にお手紙を書いていました」と聞きましたが、抑留中の手



沢原善次郎が娘豊子に宛てた満州からの手紙

は祖父母と母、私、妹の5人。私は小学3年生くらいから農作業を手伝い、中学生になつてからは、朝4時に起きて馬の飼葉を刈りました。学校が終わったらまた農作業。女手一つで家を支える母を助けたかったし、一人息子なのだから家を守るという気持ちもありました。当時は、母に「ああ、助かった」と言ってもらえるのが、一番うれしかった。雨漏りする茅葺きの家で「いつか瓦屋根の家に住ませるから」と話していました。

昭和30年代に入って、ソ連抑留で父と一緒に話をしていました。父は重労働の中で衰弱していったというものでした。家族の話をしていたそうです。「よくご家族にお手紙を書いていました」と聞きましたが、抑留中の手

紙は一つも届きませんでした。ロシアには4回行きました。遺骨を掘り起こすわけにはいきませんが、父が眠る地に行くことと安心するんです。父からは愛情しか感じていませんから。手や背中の中は温もりは知りませんが、手紙から父の愛情だけは受け取っていました。



父の肖像画を持つ沢原さん

★戦争を知らない世代に一言

戦後の小学校では、弁当は麦とコメが混ざった飯に芋やカボチャを炊き込んで増量したものでした。それすら用意できない家では、蒸したサツマイモを持ってきていました。おなか一杯ということは常にありませんでしたね。衣食住がそろって平和であることは決して当たり前ではないと、若い方には知ってほしいと思います。



大熊町慰霊碑
昭和34(1959)年9月、遺族らの陳情を受け、大熊町下野上の大野公園に建立。同年10月15日、除幕式と慰霊祭が開かれた。石碑裏面には、日清戦争から太平洋戦争までの戦没者の名前が刻まれている。写真は1965年の慰霊祭の様子。





町文化センターにあったピアノを演奏する児童たち

縁がつなぐ音と学び

学生音楽コンサートとピアノワークショップ

8月7日、ゆめの森児童クラブを対象に、福島大学との共同事業として音楽体験イベントが開催されました。震災前、文化センターにあったスタインウェイグランドピアノを福島大学の音楽棟に預かっていたご縁から実現されたもので、当日は福島大学へ出向き、学生による音楽コンサートやピアノを解体して仕組みを知るワークショップなどが開催されました。預けているグランドピアノで、ゆめの森の校歌が演奏されると、部屋中が元気な声に包まれました。

手作りのぬくもり感じる 岐阜県の高校生から手作り絵本のプレゼント

岐阜県の高校生が手作りした絵本が8月8日、町立学び舎ゆめの森に寄贈されました。受け取った園児たちは、さっそく絵本を開き、楽しそうに読んでいました。

絵本は岐阜県立大垣東高校のボランティアサークルが作成。同高では、2006年から手作り絵本を海外に送る活動をしており、2011年以降は東日本大震災の被災地にも寄贈を続けてきました。

絵本は一つひとつ、生徒たちが話を考え、絵を描き、製本したもの。仕掛けなどの工夫も凝らされ、受け取った子どもたちは「くまさんがいるよ!」などと歓声を上げながら、絵本に見入っていました。



1



2

1 絵本を手に記念撮影に収まる園児たち
2 先生の読み聞かせに聞き入る園児たち

日々の成果を晴れの舞台で 藤咲流松寿会

藤咲流松寿会の舞踊発表会が8月24日、いわき市の芸術文化交流館アリオスで開かれました。



そろいの衣装で華麗な舞を披露した出演者ら

藤咲流創立70周年となる今年は、「絆 舞う～ななかま達と共に～」をテーマに、さまざまな舞踊や演歌を披露。プログラムの最後に、大熊町イメージソング「思い直して」や「日隠れ音頭」を披露し、多くの観客を魅了しました。

吉岡健太郎副町長が「日々芸の道に精進されている皆さまが、手を取り支え合いながら演舞されている姿は、地域の活力として復興への力になると確信をしております。」と、あいさつしました。

各町の特産品を使ったスイーツで高校生が熱戦

スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ

産経新聞が主催する「スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ」の決勝大会が8月24日、Jヴィレッジで開催されました。

この大会は、東日本大震災と原子力災害からの復興に取り組む福島を、スイーツの力で応援するため3年前から開催されている企画で、当町をはじめとする4つの町（大熊町・楡葉町・広野町・富岡町）のそれぞれの特産品をテーマに、全国の高校生たちがスイーツづくりの腕を競いました。

決勝戦には、全500以上の中から書類審査を通過した12チームが進出。各町の特産品を使

い、見た目も味も工夫されたオリジナルスイーツを披露しました。審査では、味や見た目のほか調理の過程が評価されました。

審査の結果、キウイフルーツ部門の大熊町賞の最優秀賞には、国際TBC調理・パティシエ専門学校の黒崎翔太さんが選ばれました。

黒崎さんには、初回からキウイ部門の審査を担当している「メゾンジブレー」の江森宏之シェフと一緒に、来年2月に東京都内で開かれる「ふくしまスイーツフェスティバル」で販売するスイーツを開発するチャンスが与えられました。



3

1 大熊町賞を受賞し、記念撮影に収まる黒崎さん(中央)

2 作品作りに集中する黒崎さん

3 大熊町賞を受賞した作品

町内の交通利便性向上へ寄与

大熊中央産業拠点への進出が決まった報徳バスとの立地協定書の調印式が、8月27日、大熊町役場の町長室で行われました。

式では、報徳バスの佐藤慶直代表取締役と吉田淳町長が協定書に署名し、今後の事業展開や協力について確認しました。

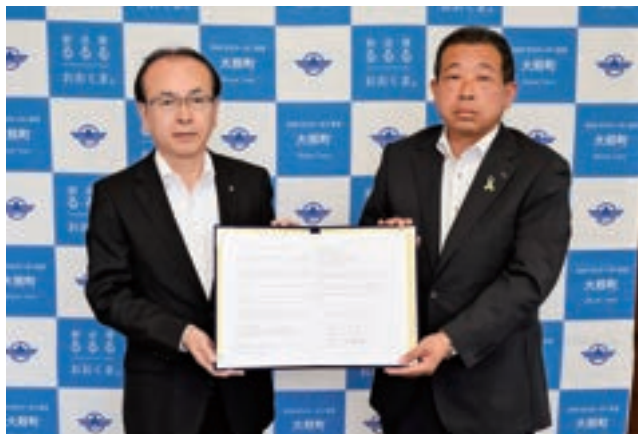
報徳バスは、東日本大震災後、原発の廃炉作業に携わる事業者の送迎事業を町内で行ってきました。

大熊中央産業拠点に立地することで事業の効率化やJ R大野駅を発着点とする新たな路線サービスの展開も検討しています。

今回の協定には、災害時に住民の避難輸送を行う「災害協定」も含まれており、地域の安全・安心への貢献も期待されています。

報徳バス立地協定書調印式

調印式で佐藤代表取締役は「大熊で地に足の着いた商いをしていき、新しい公共交通のあり方などを町と一緒に行っていきたい」とあいさつし、今後の連携に期待を寄せました。



協定書を交わす佐藤社長(右)と吉田町長

ありがとうございます

ピースフルコンサート越谷さまから思い受け取る

埼玉県「ピースフルコンサート越谷実行委員会」さまが、チャリティーコンサートで集めた寄付金を町に義援金として寄贈してくださいました。同委員会は毎年8月にチャリティーコンサートを開き、東日本大震災の被災地支援のために収益を全額寄付されています。

8月29日、代表の山本誠一郎さまが町役場を訪れ、吉岡健太郎副町長に義援金を手渡しました。ありがとうございました。



吉岡副町長に寄付金を手渡す山本代表（右）

大野幼稚園跡地に学校給食施設

総合教育会議



1

1 開会のあいさつをする吉田淳町長

2 大熊町学校給食施設の整備イメージ

町総合教育会議が8月26日に開催されました。会議では町が整備を進めている学校給食施設について協議が行われました。

本施設は学び舎ゆめの森の給食を含む最大500食を提供できる設備を有しており、令和9年の開所を予定しています。

教育委員からは地産地消への取り組みや食育への活用方法などについて意見が出されました。



2

原再生賃貸住宅で夏イベント開催 住民同士の交流深める催しに笑顔あふれる

原再生賃貸住宅で8月24日、住民交流イベント「ucchaco!」の夏の催しが行われました。

「ucchaco!」は、地域住民らが顔を合わせ、つながりを深めることを目的に、定期的に開かれているイベントです。今回は夏ならではの企画がそろい、にぎやかな1日となりました。

イベントではまず、子どもたちによる水合戦が行われ、元気な声が住宅地に響きました。続いて、スイカ割りやスイカの種飛ばし競争では、参加者たちが笑顔でチャレンジしました。

夕方には手持ち花火や噴出花火で楽しみ、家族連れを中心に多くの人でにぎわいました。夏

の終わりを感しながら、住民同士のつながりを深める良い機会となりました。



手持ち花火を楽しむ子どもたち

祝 百歳賀寿



ご家族らと一緒に記念撮影に収まる菊池さん(中央)

大正14年8月7日生まれの菊池ヤスヨさんが、8月7日に満百歳を迎えられ福島県知事からの賀寿の贈呈式が入所している施設で行われました。式で県知事の賀寿が寅磐進相双保健福祉事務所長から贈呈され、町からは特別敬老祝金が吉岡健太郎副町長から贈呈されました。また施設から花束が贈呈されヤスヨさんは元気に「ありがとうございます」とお礼を言っていました。

同日には、満百歳になられた赤井ナツイさんも、知事の賀寿と町からの特別敬老祝金が贈呈されました。



吉岡副町長から祝金を受け取る金子さん(右)

大正14年8月17日生まれの金子久子さんが、8月17日に満百歳を迎えられ、福島県知事からの賀寿の贈呈式が入所している施設で行われました。式では県知事の賀寿が寅磐進相双保健福祉事務所長から贈呈され、町からは特別敬老祝金が吉岡健太郎副町長から贈呈されました。



大熊町都市計画審議会の委員3人が表彰 都市計画事業功労者

大熊町都市計画審議会の委員として平成20年からの長年にわたり、町のまちづくりに貢献してきた池田政典さん、鈴木章一さん、山本千代子さんが8月5日、令和7年度の「都市計画事業功労者」として県都市計画協会から表彰されました。

今回の表彰は、15年間にわたり都市計画事業に尽力されてきた功績が評価されたものです。とくに、平成23年の東日本大震災以降の復興期においては、震災前の町の姿をふまえながら、将来を見すえた新たなまちづくりに大きな役割を果たされました。

委員の方々は、住民の皆さんの生活再建や、安全で安心して暮らせる町を目指し、都市計画の立案や見直しに熱心に取り組まれてきました。そうした継続的な努力が、今回の表彰という形で認められました。



長年の功績に表彰を受けた(左から)池田さん、鈴木さん、山本さん

子どもたちが手作り縁日でおもてなし おおくまこどもなつまつり

大熊町放課後児童クラブに在籍する子どもたちが8月6日、自分たちで準備した手作りの縁日をlinkる大熊で開催し、地域の住民や認定こども園の園児たちを出迎えました。

この縁日は、子どもたちが主体となって計画・準備を行い、クラブを利用していない人たちにも楽しんでもらおうと企画されたものです。当日は、綿あめづくり体験や景品がたくさん射的、手作りのクレーンゲームなどのブースが並び、にぎやかな雰囲気になりました。

訪れた園児たちは、少し年上の子どもたちの呼びかけに応じてゲームを楽しみ、景品を手

して笑顔を見せていました。保護者や地域の人たちも会話を交わしながら、温かい交流の場となりました。



射的ゲームで景品に狙いを定める子どもたち

大人なひとときを駅西で クレバビアガーデン

8月の毎週金曜日に、駅の西側にある「CREVA おおくま」と「クマSUN テラス」でビアガーデンが開かれました。

22日には、クマSUN テラスの中央広場で有志の人たちによるミニライブが行われ、29日には、CREVA おおくまの3階にあるテラスで、バーテンダーの近藤佳穂さんが1日だけ「Bar mauve (バー・ムーヴ)」を開きました。

町の中には、お酒を楽しめる場所がありません。そのため大人たちにも夏を楽しんでもらいたいと、駅西の管理をしている「BTC 合同企業体」がこのイベントを企画しました。

クマSUN テラスにあるお店のテイクアウトメニューと一緒に、ビールやカクテルを楽しむ人たちの「かんぱーい!」という声が広場に響いていました。



CREVA おおくま3階のテラスで一夜だけオープンした Bar mauve

町民掲示板 各地のコミュニティ団体や行政区、同級会など、町民の皆さまからのお便りです。

おおがわら会



8月2日にlinkる大熊で「臨時総会 & ニューススポーツ大会」を開催し、28人の方に参加いただきました。

臨時総会では、「大熊町里山協議会の加入について」趣旨説明を会員のOriai 谷田川さんが行った後、鈴木照重議長の裁決の呼びかけに、拍手をもって承認されました。

ニューススポーツ大会では、カローリング、ボッチャ、輪投げをチーム戦で競いました。上位2チームが同点で決勝戦は輪投げ決戦をおこない、緑チームが優勝に輝きました。

みんなでつくる夏の彩り

なつ祭り in おおくま 2025



大熊町写真館



まちづくり公社
YouTube

8月30日、恒例の「なつ祭り」が町役場前広場で盛大に開催され、延べ2,300人以上の来場者でにぎわいました。コミュニティづくり実行委員会の主催。

会場には東京大学や福島高専の学生たちによる体験ブースや、さまざまな飲食メニューを提供する地元企業のキッチンカーなどが並び、子どもから大人まで多くの笑顔が見られました。

今年の夏まつりで初披露された「たにし踊り」が再登場。大川原や町役場の有志らが手作りの衣装をまとい、宗像宗之実行委員長の歌に合わせ、舞を披露しました。

また、各行政区のお囃子の演奏や仮装盆踊りが行われ、観客を楽しませました。

まつりの締めくくりには、音楽に合わせて花火が打ち上げられ、夜空に大きな花を咲かせました。夏の終わりを告げるその光景に、訪れた人々は見入っていました。



1 まつりを締めくくった花火 2 羊と触れ合う来場者
3 スーパーボールすくいに挑戦したまあちゃん
4 太鼓を教わる子ども 5 仮装盆踊りで入賞した皆さん

要望活動

大熊町・双葉町の 復興等に向けた重点要望について

町は、8月7日に双葉町と合同で伊藤忠彦復興大臣をはじめとした政府関係省庁と与党東日本大震災復興加速化本部に対して町の復興・再生に向けた要望活動を行いました。

大熊町からは、吉田淳町長、仲野剛議長が参加し要望書を手交しました。

政府・
与党への
要望

1. 拠点区域外の避難指示解除に向けた取組の実施
2. 復興のスタートに立つ両町への重点的サポート
3. 福島第一原子力発電所の廃炉を担う東京電力への監督・指導
4. 中間貯蔵施設の安全管理及び最終処分場等の確保



自民党への要望書手交



復興庁への要望書手交



移住に関する
情報



まちづくり公社
に関する情報

復興支援員のぞいてみよう！ ライフ

vol.1



コミュニティ再構築や町内住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は鈴木守さん、藤井雅さん、遠藤佳南子さんをご紹介します。



鈴木 守

【受け入れ企業】

一般社団法人おおく
ままちづくり公社

【担当】

地域におけるにぎわ
いや交流機会の創出

【活動内容】

6月末に東京から移住しました鈴木守です。子どもの頃から長い休みは母親の故郷である郡山で過ごし、成人してから福島に就職した友人宅をよく訪れ福島には非常に愛着がありました。前職はテレビ番組のディレクターだったのでその経験を活かし、他にはない大熊町の魅力を発掘し多くの人々に知ってもらえればと考えています。



藤井 雅

【受け入れ企業】

一般社団法人おおく
ままちづくり公社

【担当】

町内外のコミュニ
ティ形成支援

【活動内容】

いつもお世話になっております！昨年6月に大熊に来て以来、大川原にお住いの皆さんやコミュニティ団体の皆さんを中心に、イベントを通じてコミュニティ継続のお手伝いをしています。日々皆さんに大熊のことをたくさん教えていただき楽しく毎日過ごしています。どこかでお会いした際は気軽にお声がけください～！



遠藤 佳南子

【受け入れ企業】

一般社団法人おおく
ままちづくり公社

【担当】

町内外のコミュニ
ティ形成支援

【活動内容】

2023年9月から大熊町復興支援員としてふるさと絆づくり事業を担当。主に避難先・町内コミュニティ支援、おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局として、それぞれの地で「ふるさと大熊」を通してゆるくながくつながりを保つ活動をサポートしています。たくさんの方が大熊とつながり、この地で人生を過ごす人が増えることが目標です。



イベントの計画を練るコミュニティ担当の3人



OIC

OKUMA
INCUBATION
CENTER

大熊インキュベーションセンター



全文はこちらから

入居者紹介 OIC ってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター(OIC)には、現在120社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざま。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。

L7 (エルセブン)

今回は、入居企業インタビュー第51社目として、L7をご紹介します。代表の野田翔一郎さんにお話を伺いました。

野田翔一郎さんは大手外資系コンサルティング会社のPwCを経て独立し、浜通りに移住してコンサルティング会社のL7を立ち上げました。L7の主な事業内容は、政府や企業に対する調査分析・戦略立案の支援と共同プロジェクトの推進です。具体的には経済産業省や関係機関などの浜通りにおける産業振興や交流人口拡大を支援しています。また統計解析が専門分野のひとつのため、福島県庁のデータ分析に関するアドバイザー業務もしています。

コンサルティング業では地元住民としての目線を活かして、より現実的かつ地域内に直接的なメリットが生まれることを意識して取り組んでいます。

現在は家族と共に富岡町に移住し、1年前に土地を購入して家を建てたとのこと。趣味は自転車(ロードバイク)で、自転車コミュニティ「福島チャリ部」にも参加しているほか、双葉郡に自転車店がないためサイクリスト向けの拠点も整備中です。10月には自転車店の「Turtle Cycle」を開業予定で、その後は自転車フィッティング施設「Rabbit Lab」や、一般客向けのカフェなどを整備して、サイクリストや地域の方々が集まりたくなる拠点を作っていきます。

野田さんいわく、コペンハーゲンで行われた研究によると、仮に大野駅～大熊インキュベーションセンターの往復4kmを1年間乗り続けると1人あたり約25,000円の医療費削減効果があるとされており、自転車に乗ることと健康増進効果も見込めるんだとか。

野田さんは「もっと気軽に自転車に乗る文化を作っていけたらと思っています。」

皆さん一緒に自転車に乗りましょう!とのメッセージをいただいています。



日本臨床統合医療学会

次にご紹介するのは日本臨床統合医療学会です。理事長補佐の沢里朱音さんにお話を伺いました。

日本臨床統合医療学会は、薬物療法や手術などの西洋医学だけでなく、ラドン療法や漢方、食事療法などの補完代替医療も組み合わせ、患者一人ひとりにとって最適な治療法を臨床の現場に取り入れることを目指しています。補完代替医療は海外では効果が認められているものの、日本では保険適用外で、まだ広く浸透しているとは言えません。そのため、科学的根拠や臨床データに基づき、正確な情報を発信しています。

沢里さんは高校卒業後に渡米し、医療系生物学を専攻。医療通訳や製薬関連、ワクチン研究チームなど、多様な医療現場を経験しました。帰国後、知り合った医師と共に学会を設立。大熊町を拠点に選んだ背景には、ヨーロッパでは保険治療として認められる「ラドン療法」への着目があります。海外で暮らす中で、福島の放射能に対して根拠のない悪いイメージが広がっていることを実感し、医療の知識をもって安全性を数字と根拠で示したいと考えようになったといいます。そうした思いを胸に、この地から活動の輪を広げていく計画です。

学会では年1回の学術総会や定例研究会を開催し、医師や研究者、学生会員と共に研究を進めています。大熊町でも講演会を実施し、約60人が参加。今後は講演会や学術会をさらに充実させ、OIC入居企業や地域団体と連携しながら、国内外への情報発信を強化していく予定とのこと。

「福島は“家族じゃない家族”のような存在」と語る沢里さん。帰国後初めて訪れた地で出会った、垣根のない温かな人々とのつながりが、活動の大きな原動力になっているそうです。



OICはどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください!

大熊町からの

お知らせ



内容 時日時 場会
場 対対象 費費用 持
持ち物 定定員 申し
込み方法 期申し込み
期限 問問い合わせ先
☎ 電話番号 FAX ファ
クス ✉ メールアドレス
WEB ウェブサイト

補助・助成



大熊町定額減税補
足給付金（不足額
給付）について



■制度概要

令和6年度、納税義務者および
扶養親族等1人につき4万円（所
得税3万円、個人住民税1万円）
の定額減税が実施されました。

このうち、減税額が所得税・住
民税額を上回り「減税しきれない
と見込まれた方」に、見込額をも
とに調整給付金を支給しました。

確定申告等で令和6年中の収入
や扶養状況が確定したため、改め
て定額減税額を再計算し、令和6
年度調整給付金との差額が不足し
ている方に不足額給付を行います。

■計算方法

①所得税分	所得税の定額減税可能額（※1）－令和6年分所得税額
②住民税分	住民税の定額減税可能額（※2） － 令和6年度個人住民税（所得割額）

①と②を合計し、1万円単位に切り上げた額が調整給付金額となります。

※1 所得税分定額減税可能額＝3万円

×（納税義務者＋同一生計配偶者＋扶養親族[16歳未満含む]）

※2 住民税分定額減税可能額＝1万円

×（納税義務者＋同一生計配偶者＋扶養親族[16歳未満含む]）

対次の条件をすべて満たす方が対
象です。

①令和7年度個人住民税の課税主
体が大熊町の方

②再計算の結果、令和6年度調整
給付金より不足額が生じた方

③合計所得金額が1,805万円
以下の方

※調整給付金額が不足額給付金額
を上回る場合は対象外です。

申請給付対象と見込まれる方に、8
月25日（月）から確認書を送付して
います。

必要事項を記入のうえ10月31日
（金）までにご返送ください。

■その他

令和6年1月2日以降に町へ転
入された方は、前住所地の自治体
へ税額照会を行い、その結果をも
とに判定します。

一部自治体では対象者が多く、
回答まで時間を要する場合があります。
ますのでご理解ください。

問福祉課 福祉係

☎ 0240(23)7196

お願い



除染が完了した敷地（宅地）
の線量調査にご協
力ください



避難指示解除区域内の、宅地の
放射線量調査にご協力していただ
ける方を募集しています。

町の測定は環境省の定点測定と
違い面的に行うため、より詳細な
測定が可能です。少しでも放射線
に関する不安の解消、ホットスポ
ット発見による再除染など環境把
握と改善にご協力をお願いします。

■調査区域および件数

避難指示解除区域40件

■募集条件

環境省の除染作業で敷地（宅地）
の除染が完了していること

期11月14日（金）まで

※調査件数に達した場合は、お断
りする場合があります。

申電話で

問環境対策課 廃炉・放射線対策
係

☎ 0240(23)7823

お知らせ



**令和7年度大熊町
戦没者追悼式・慰
霊祭を開催します**



時 10月10日(金)午前10時
場 linkる大熊

(大川原字南平1207-1)

対 どなたでも

問 福祉課 福祉係

☎ 0240(23)7196

**らくらく窓口証明
書交付サービス
を開始しました**



住民税務課および各出張所の窓口で、マイナンバーカードを利用し簡単なタッチパネルの操作をするだけで、証明書が取得できるようになりました。

申請書の記入や本人確認書類の提示は不要で、コンビニに設置されているマルチコピー機と同様の操作で証明書が取得できます。

操作方法が分からない場合は、

職員がサポートしますので気軽にお声がけください。

対 本町に住民登録があり、マイナンバーカードをお持ちの方

■ 取得できる証明書

コンビニ交付サービスで取得できる証明書と同様

・住民票の写し

・印鑑登録証明書

・戸籍謄抄本および附票の写し

(本籍地が大熊町の方のみ発行可)

・所得課税証明書

費 通常の手数料と同様

問 住民税務課 住民係

☎ 0240(23)7146

**クマの出没に
注意してください**



現在、浜通り地域全体に「ツキノワグマ出没注意報」が発令されています。屋外で作業を行う際は鈴やラジオなどの音のなるものを携帯し、クマと出会わないための対策を心がけてください。

期 12月15日(月)まで

問 農業振興課 農政係

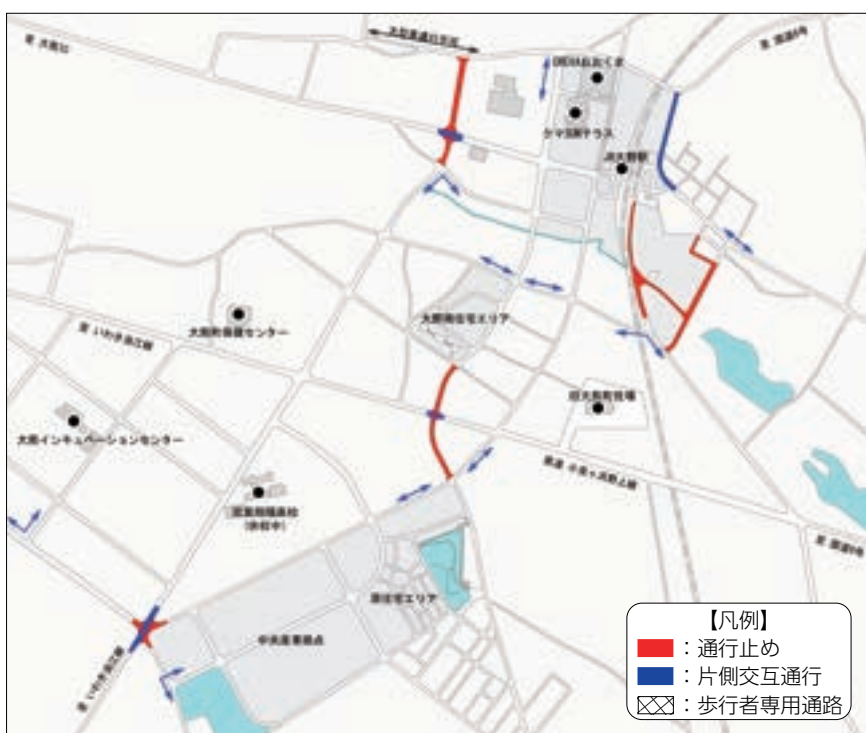
☎ 0240(23)7137

基盤整備工事に伴う10月の通行止め箇所について



■ 10月の通行止め箇所図

下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の基盤整備工事および道路等工事のため通行止めを行っています。通行の際は、現地の案内看板等をご確認ください。



【凡例】

- : 通行止め
- : 片側交互通行
- : 歩行者専用通路

問 UR都市機構 東北震災復興支援本部 大熊復興支援事務所

☎ 0246(38)8127

問 復興事業課 建設係

☎ 0240(23)7019

「二十歳の成人式」 の開催会場が変更 になりました



広報おおくま 8月1日号で「二十歳の成人式」の開催についてお知らせしましたが、開催会場が次のように変更となりました。開催日時に変更はありません。

変更前 学び舎ゆめの森
変更後 linkる大熊

(大川原字南平1207-1)

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

募集・イベント



子育て世帯向け
賃貸住宅の入居者
を募集します



物件について

2階戸建て住宅(平成19年築
熊字新町69)／4LDK…1戸／
月額…10・0万円(駐車場2台分
含む)ペット可(要審査)

・大熊町定住促進賃貸住宅家賃補

福島県防災アプリで 「マイ避難シート」を 作りませんか



県は、水害や土砂災害から自分や大切な人の命を守るために、自分にあった避難行動を日頃から考える「マイ避難」の取り組みを進めています。



自分や家族一人一人に合った避難計画(マイ避難シート)が、福島県防災アプリから作れます。災害時に迅速に避難できるよう、この機会に作りませんか。

11月30日(日)までに福島県防災アプリでマイ避難シートを作成すると、豪華賞品が200人に当たります！詳しくはQRコードをご確認ください。

福島県防災アプリ・マイ避難シートを作成して豪華なプレゼントをGETしよう！
※マイ避難シートとは…いざという時に速やかに避難するために日頃から作成しておく、自分に合った避難計画のこと！

15分でできる！家族の命を守る新習慣！
アプリで作ろう！
「マイ避難」キャンペーン
2025.9.1月～11.30日
応募方法は特設サイトをチェック
福島県 防災アプリ 体験

豪華賞品が200名様に当たる！
※キャンペーン開始前にマイ避難シートを作成していても応募できます。
※プレゼントの画像はイメージです。実際の賞品とは異なる場合があります。

特賞 5名様 福島宿泊券 3万円	1等 10名様 福島牛 サーロイン ステーキ 200g×3	2等 85名様 ふくしま グルメセット 3等 100名様 オリジナル 防災備蓄ボトル 6点セット
-------------------------------	--	---

ダウンロードは
こちらから！

App Store
Google Play

【iPhone/Android両対応】
対象OS: iOS 13.0以降
【Android/Windows両対応】
対象OS: Android 8.0以降

主催 福島県危機管理対策推進課
協賛 大熊町
お問い合わせ先 大熊町危機管理対策推進課
024-932-2232(受付時間: 平日9:00~17:00)

福島県 防災アプリ

問 アプリで作ろう！「マイ避難」キャンペーン事務局
☎ 024(932)2232(午前9時～午後5時)

助金の対象です。

・書類審査で入居者を決定します。
申込期間は10月31日(金)必着です。
詳細は、QRコードを読み取り
ご確認ください。

ご確認ください。

問 一般社団法人おおくままちづく
り公社 不動産担当

☎ 0240(23)7101

「Out of KidZan ia in ふくし ま 相双 2025」 が開催されます



相双地域の魅力体験コーナーで
ロボットの操作や、ものづくり体
験などを楽しむことができます。
詳細はQRからご確認ください。
なお、仕事体験プログラムの空
き枠は、メイン会場で当日申し込

みを受け付けています。ぜひ、お
越しください！

時 10月25日(土)、26日(日)

午前10時～午後4時

場 福島ロボットテストフィールド

ほか

対どなたでも(年齢制限なし)

費 無料

問 福島県相双地方振興局企画商工

部地域づくり・商工労政課

☎ 0244(26)1142

「里親入門講座」 〜知ってほしい 里親のこと〜



ふくしま里親相談センターは、
浜児童相談所と一緒に里親制度や
子どもの福祉に関心のある方を対
象とした里親入門講座を開催しま
す。

時・場

【相双地区】

10月24日(金)午後2時〜4時
道の駅南相馬ホール(南相馬市原
町区高見町2-30-1)

【いわき地区】

10月31日(金)午前10時〜正午
福島県浜児童相談所(いわき市自
由ヶ丘38-15)

内 1. 講義「里親制度について」

2. 里親体験談

定 各20人

期 10月20日(月)

申必要事項を記入のうえ、電話・
メール・FAXのいずれかで申し
込みください。

費 無料

詳細はQRコードで確認くだ
さい。

問 ふくしま里親相談センター

☎ 090(1080)9664

FAX 024(983)7708

✉ fostering@hoshpital.jp

おおくま希望の翼インテンシブ
プログラム18+の参加者
を募集します



オーストラリア・バサースト市
で集中的な語学研修に参加希望す
る18歳以上の方を募集します。

時 令和8年3月14日(土)〜3月30
日(月)

期 10月1日(水)〜10月31日(金)

※ 10月31日(金)消印有効

■ 選考日程(書類選考・面接選考
を予定しています)

11月中旬

■ 派遣予定人数

5人

詳細は同封のチラシまたは町ホ
ームページをご確認ください。

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター (ADR センター) からのお知らせ

令和8年3月までの 偶数月 第1土曜日 奇数月 第1水曜日

平日夜間・土曜窓口を開設します

開設日時、予約方法等は
こちらからご確認ください



通常の窓口に加え、無料で弁護士等と話せる窓口を開設します。その場で申し立ても可能です。

■ 開設日時

- ① 11月5日(水)午後4時〜8時
- ② 12月6日(土)午後1時〜5時

■ 予約受付期間(土日・休日を除きます)

- ① 10月1日(水)〜10月24日(金)
- ② 11月4日(火)〜11月25日(火)

ご予約は電話で。☎ 024-941-0164
(予約電話受付 平日午前10時〜午後4時)

ADR センターでは今年も大熊町と連携して
町の健康診断会場に出張窓口を設置します。
詳しくは折り込みのチラシをご覧ください。

■ 利用方法

対面
(福島事務所へ来所)
* 郡山駅東口徒歩5分

予約優先制

ご自宅からも利用できます

完全予約制(先着順)

電話 **オンライン**
(Zoom 会議)

問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎ 0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時〜午後5時)

秋の坂下ダム ウォーキングイベ ント開催決定！



ウォーキングイベントの他、ミニゲームや食事の振る舞いをご用意する予定です。内容や申し込み方法などは、QRコードから。お楽しみに！

時 11月22日(土)

午前9時30分受け付け、10時開始
問 おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局

☎ 090(2952)5939

大熊町関東大交流会 2025開催決定！



お楽しみ交流会のほか、町の復興状況についての説明会などを企画しています。

皆さまお誘い合わせのうえご参加ください。関東圏に避難されている大熊町民の皆さまにお会いできるのを楽しみにしています♪

時 12月7日(日)

内 屋形船で交流会

場 東京都内

定 最少催行人数25人

申 必要。詳細はQRコードから。

問 おおくままちづくり公社

☎ 090(2952)5939

大熊町ふるさと まつり開催決定！



時 11月1日(土)

午前10時～午後4時

場 大野駅西交流エリア(CREVA おおくま・クマSUNテラス)

内 お笑いライブ、歌謡ショー、お子さまも遊べる遊具やキャラクターショーや多数の出店もありますので、皆さまのご来場をお待ちしています。

町民参加イベント計画中！申し込み方法は別途ご案内します。

問 大熊町観光協会事務局(おおくままちづくり公社内)

☎ 0240(23)7101

福島広域雇用促進支援協議 会から

●行くしかない!!

働きたいネットの就職



面接会

【参加無料・履歴書不要・服装自由】

短時間でたくさんの方の企業の情報

収集ができる♪就活が一步前進！

時 10月24日(金)

午後1時30分～3時

場 大熊町商工会館(下野上大野80)

■参加企業

相双地域等の企業14社

企業の詳細はホームページをご覧ください。

申 電話、ホームページから予約または当日参加。予約がオススメです。

※本面接会は「求職活動実績」になります。雇用保険受給者の方には参加証明書を発行します。

●働きたいネットの就職

応援マルシェ【出張求職者カフェ】

【参加無料・予約不要】

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます！

時 10月22日(水)午前9時～正午

場 ハローワーク富岡 2階会議室

■支援メニュー

◎証明写真撮影(撮影希望の方は



環境省 福島地方環境事務所 からのお知らせ 中間貯蔵施設見学 会を開催します



時 10月17日(金)、18日(土)

申 中間貯蔵事業情報センター

☎ 0240(25)8377

問 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課

☎ 024(563)1293

大熊町山田会



内 寄せ植え

時 11月16日(日)午前10時

定 30人

費 500円

場 渡辺宅

問 石田和枝

☎ 090(7326)7444

大熊町いわき会



内 日帰りバスツアー

時 10月28日(火)

場 大内宿と会津方面

植田駅(午前7時)

泉公民館(7時20分)

報徳バス駐車場(7時40分)

費 3000円

申 必要

定 30人

問 宮本明

☎ 090(5188)8163

問 坂本一郎

☎ 090(8929)9016

おおくま中通り会



内 竹ちくわ作り体験と小名浜のんびり日帰り旅行

時 10月9日(木)午前8時30分

※中通り連絡事務所集合

場 アクアマリンふくしまいわき・ら・ら・ミュウいわきかまぼこ工房

費 2000円

定 25人

問 山本千代子

☎ 090(7072)6611

※平日の午前9時～午後5時

※生ものが食べられない方はご連絡ください。

問 斎藤重征

☎ 090(8423)6515

問 鈴木久友

☎ 090(3368)8919

おおがわら会



内 「防災ワークショップ」に参加して防災について考えてみよう！

環境対策課を講師に招き地域の防災について町民同士のワークショップを通して考えてみませんか。

当日は自分で作成する防災マップや防災袋などの展示を予定しています。

時 10月25日(土)

午前10時～午後1時

(午前9時30分受け付け開始)

場 linkる大熊

費 高校生以上500円

小学生 300円

未就学児童 無料

定 30人

問 山本千代子

☎ 090(7072)6611

※平日の午前9時～午後5時

消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎ 0240(22)2119

豪雨災害に備えましょう !!

今の季節は、台風や前線の影響で、洪水、暴風、高潮などによる自然災害のリスクが増加します。災害への備えをもう一度確認し、早めの対策を心掛けましょう。

風水害対応
フロー
チャート

台風の接近や線状降水帯・ゲリラ豪雨の発生予報など風水害の危険が迫る

気象情報で注意報・警報・特別警報や、土砂災害警戒情報が出ている？

はい

高齢者等避難や避難指示
が発表されている？

いいえ

気象情報や周辺の変化に注意し、避難に関する情報が出たら直ちに避難できるよう準備しましょう。

はい

すでに浸水している？
または夜間で見通しが悪い？

いいえ

指定緊急避難場所など安全な場所に避難しましょう。

はい

自宅や近隣の建物の2階以上の安全な場所へ避難し、救助を待ちましょう。※こうなる前に避難！

避難が必要かどうかは、その場所によって異なります。市町村が発表しているハザードマップを確認して、皆様のご自宅や職場、通勤通学ルートなど身近な場所が、風水害の危険性があるかどうかを把握し、避難経路や避難場所を確認しておきましょう。

健康



ノルディック ウォーキング



時 10月15日(水)

午前10時から正午まで

場 linkる大熊

定 15人

申 事前にご連絡ください

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

家トレ教室



内 筋トレ、脳トレ

時 10月7日(火)、28日(火)午前10

時 30分～正午(受け付け10時～)

場 中通り連絡事務所

定 15人

申 前日までに電話で

対 大熊町民の方

持 タオル、飲み物、運動靴

問 中通り連絡事務所

☎ 024(983)0686

いきいき百彩クラブ



内 理学療法士による腰痛についての健康教室

時 10月8日(水)

午前10時～11時30分

場 大熊町保健センター

定 15人

申 10月7日(火)までに電話で

対 大熊町民の方

持 動きやすい服装、飲み物

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

保健センター

開放日



赤ちゃんから高齢者の方まで、幅広い世代が集う場として、また、お散歩の途中の寄り道や熱中症予防のために涼み所としてもお気軽にお立ち寄りください。

お茶コーナーのほか、おもちゃや絵本、健康に関する情報を設置しています。健康相談・介護や認知症・栄養相談もできます。

※保健センター前で生活循環バス

も停車します。

時 10月29日(水)、11月27日(木)

午前9時～午後4時まで

場 大熊町保健センター

(下野上字金谷平565)

内 ◎移動図書／午前10時～正午

◎いちごカフェ／午後1時30分

～3時30分

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

子育て



子育てひろば



①内 リトミック、身長体重測定、個別相談

時 10月28日(火)

申 電話で1週間前までに

②内 自由遊び、身長体重測定、個別相談

別相談

時 11月25日(火)

申 電話で3日前までに

〈共通〉

時 午前9時30分～11時30分

場 大熊町役場 いわき出張所

定 親子5組

不動産利活用、地域コミュニティをサポート!

特産品「帰忘郷」販売中!

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶

●不動産利活用登録募集 ● okuma store (EC サイト)

●復興支援員募集中!

詳細は右 QR コードよりご確認くださいご応募ください。



問 おおくままちづくり公社 ☎ 0240(23)7101(平日午前9時～午後5時)

対 未就学児と保護者(祖父母も可)
持 飲み物、おむつ、バスタオル
※体重測定希望の方・おむつ交換の際は、ご自身でバスタオルをお持ちください。
問 健康保険課 保健衛生係
☎ 0240(23)7419



柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

先月のコラムでは、食品の放射性物質汚染に対する不安を持っている方の割合は大熊町民の約3分の1にあたる37.5%にのぼり、移住者を含めて町内に住んでいる方および若い世代ほど不安に思う方は少ないという私たちの調査結果についてお伝えしました。これは福島第一原発事故由来の放射性セシウムによる被ばくの不安を示していますが、この不安を払拭するためには、私たちが普段からどの程度の放射線被ばくを受けているかを理解することが重要です。

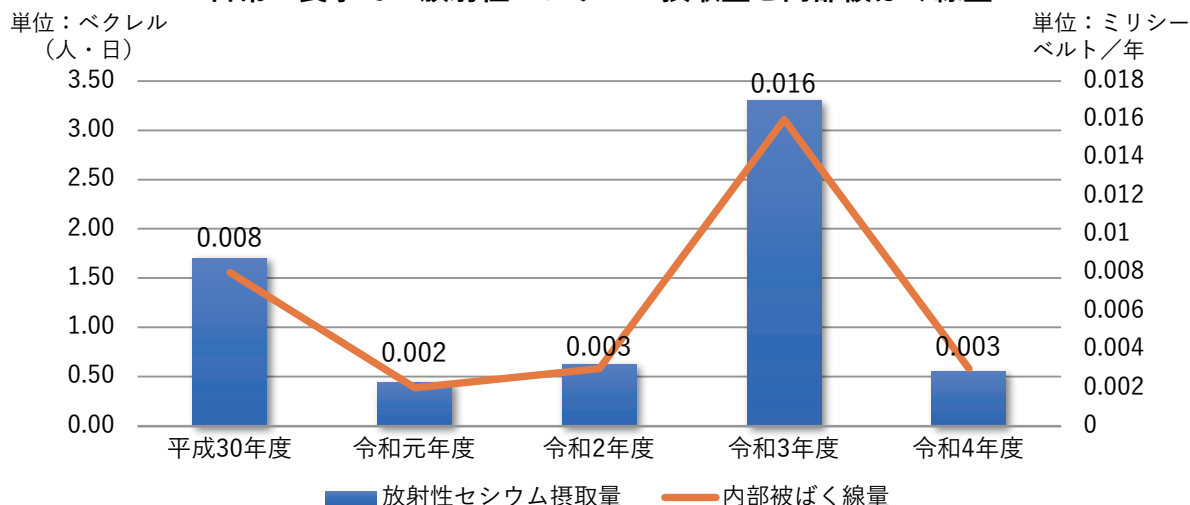
日本人は世界的に見ても魚介類を多く摂取する文化であることから、他の国と比較して食べ物からの被ばく量が多いとされており、1年間で約1ミリシーベルトを自然に被ばくしています。そして、事故後の放射性セシウムによる追加被ばく線量限度の100分の1程度であることが示されました(グラフを参照)。

福島県は、平成24年から令和4年までの10年間にわたり、一般家庭の日常食に含まれる放射性物質の量を調査しました。この対象には大熊町も含まれています。その結果、直近の5年間の食事による放射性セシウムの摂取量は最大でも1日あたり3.3ベクレル、被ばく線量を計算すると、0.016ミリシーベルト/年となり、追加被ばく線量限度の100分の1程度であることが示されました。1kgあたり100ベクレルを超える食品は流通しないこと、10年間の調査を通じて、普段の食事に放射性セシウムはほとんど含まれておらず、その被ばくの量も非常に限定的であることが明らかになっています。



図引用：
環境省、放射線による健康影響に関する統一した基礎資料（令和6年度版）

日常の食事での放射性セシウムの摂取量と内部被ばく線量



※参考：福島県、ふくしま復興情報ポータルサイト「日常食の放射線モニタリング結果」

長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶



人生会議とは…自分がこれからどう
生きたいか、希望を話し合うこと、
年齢に関係なく、自分の気持ちを伝
える機会です。

介護のギモン - 『要支援』と『要介護』 -

＜要支援は本格的な介護は必要ないものの、介護予防を積極的にすべき状態のこと＞

「要介護認定」で「要支援」の認定を受けた人は「介護予防サービス」を利用できます。

適切にサービスを利用することで要介護になることを予防し、心身状態の維持もしくは改善が見込まれます。

＜「要介護」は、介護が必要な状態のこと＞

介護がどれくらい必要かを判定したものを「要介護度」といいます。要介護度は「自立」と「要介護1」から「要介護5」までの5段階があります。

この要介護度を判断するためにおこなわれるのが「要介護認定」です。「要介護認定」は、国が定めた一定の方法と基準に基づいて、各市区町村が実施します。要介護の認定を受けた人は、要介護度に応じた介護サービスを利用できるようになります。「自立」が最も軽く、「要介護5」が最も重い段階です。この判定によって介護保険料の利用限度額や、利用できる介護保険サービスが決まります。

なお、「自立」は介護サービスが必要ない状態で、介護保険が適用されません。

介護度

自立

要支援1

要支援2

要介護1

要介護2

要介護3

要介護4

要介護5

暮らしの安心を支える福祉サービス（福島県内）

次のサービスを受けるためには、申請が必要となります。



おもしろい駐車場利用券

歩行が困難な方々が駐車スペースを確保しやすくすることを目的とした制度です。利用者はおもしろい駐車場交付証を受け、「おもしろい駐車場（病院、公共施設等に設置されている車いすマークの駐車スペース）」に駐車することができます。福島県独自の事業ですが、同様の制度を実施している府と県で利用できる場合があります。

（現在、42 府県で利用が可能）

～大熊町内で乳幼児健診が再開しました！～



7月8日に1回目の乳幼児健診が大熊町保健センターで実施されました。

乳幼児健診は、お子さんが順調に育っているかを確認し、健やかな成長を支援するものです。病気などの早期発見や予防、お子さんの成長・発達、栄養状態、予防接種の時期や種類などの確認を行うなど、育児に関する不安や悩みに対して相談もいただける大切な機会です。



①受付

母子手帳、問診票をご準備ください。



②問診

お子さんの成長を確認します。



③身体測定

身長伸びたかな？
体重増えたかな？



④診察

優しい小児科の先生が丁寧に診察します。



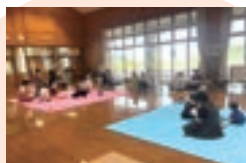
⑤歯科検診

1歳6か月児健診からはお口の健康を確認します。



⑥歯科・栄養・心理相談

専門職が各月齢に応じた相談に対応します。お気軽にご相談ください。



集団健診は、他の保護者の方やお子さんとも会えるため、情報を交換したり、コミュニティの輪を広げる機会にもなります。



絵本の読み聞かせ

健診の結果を保健師から受けた後は、好きな絵本を見てのんびり楽しんでください。

日 程	7月8日 (火) 実施済	10月7日 (火)	令和8年 1月20日 (火)
対象者 (目安)	双葉郡内にお住いの4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児		
場 所	大熊町保健センター (下野上字金谷平565)		

母子健康手帳交付希望の皆さまへご妊娠おめでとうございます



大熊町こども家庭センター**おおくまっこ**は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。



子育て支援アプリ

「すくすく♡おおくまっこby母子モ」



熊川はかつて「鮭川」と呼ばれていた？

秋になると熊川下流には産卵のために熊川を遡上^{そじょう}してくる鮭の姿が見られるようになります。
大熊町でも毎年10月下旬には熊川地区にあった熊川漁業協同組合で熊川鮭まつりが開催され、
やな場では地引網漁による鮭の収穫や、鮭汁の無料配布、鮭のつかみ取りなどが行われ、にぎわ
いを見せていました。

このように熊川と鮭は深い関わりがあることは多くの人のご存じ
だと思いますが、地域の人から「鮭川」と呼称されていたことはご存
じでしょうか。

明治18年に作成された『鮭川諸用簿』という史料が町に残されて
います。この史料は川元と呼ばれる川の漁業責任者によって作成さ
れ、「鮭川」における鮭の漁獲本数や鮭を捕獲した人名まで細かく記
録されています。この人名をみると多くの人名が熊村、もしくは熊
川村の人であると確認できます。一方で、他地区の人名も見られま
すが、その際には人名に「小入野村」「夫沢村」「野上村」「富岡」な
どの注釈が付与されています。このような点から、この鮭川は熊村、
熊川村の人が主として鮭を取る川として、熊川を「鮭川」と呼んでい
たと考えられます。なお、この史料によるとこの年の年間の漁獲高
は3,677本であったとされ、ふ化養殖がなされていない時期である
ことを考慮すると、当時の熊川には多くの鮭が遡上^{そじょう}していたことが
うかがえます。

なお、熊川を「鮭川」と呼称する事例は江戸時代の古文書にも度々
見られます。このように熊川は古くから鮭が豊富な漁場であったこ
とが史料からも知ることができます。



鮭川諸用簿

各 種 問 い 合 わ せ 先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局

☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所

☎23-7170

ふたば医療センター付属病院

☎23-5090

町社会福祉協議会

☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森

☎23-4462

義務教育学校 学び舎ゆめの森

☎23-5341

移住・定住・帰還支援

町移住定住支援センター

☎23-7103

おおくままちづくり公社

☎23-7101

商工・観光・交流

町観光協会

☎23-7101

町インキュベーションセンター

☎23-7721

町商工会

☎23-7380

交流施設 linkる大熊

☎23-7676

宿泊温浴施設ほっと大熊

☎23-5767

郵便

大熊郵便局

☎32-2222

警察・消防

双葉警察署

☎22-2121 (緊急通報 110)

富岡消防署

☎22-2119 (緊急通報 119)

災害情報専用テレホンサービス

☎26-0366

電気

東北電力コールセンター

☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部

☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団

☎25-5323

(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル

☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合

南部衛生センター

☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関す

る問い合わせ窓口

☎0120-027-582

一時立ち入りコールセンター

☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
山 本 珀 琥	龍 矢・瑠 佳	清 水



ご結婚おめでとう

花むこ	住 所	花よめ	住 所
原 口 拓 也	大 野	岩 田 萌	神奈川県 川 崎 市



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
市 川 幸 広	58 歳	大 野
田名網 忠 雄	92 歳	原
澤 内 文 雄	79 歳	旭 台
常 恒 市五郎	98 歳	西大和久
多 田 正 友	81 歳	東 台
佐 藤 敬 信	92 歳	諏 訪

令和7年8月届出

広報はホームページでも ご覧いただけます。

広報おくまは町ホームページでも公開しています。
パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご活用ください。

大熊町 HP



Facebook



Instagram



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

毎年恒例のなつ祭りを取材してきました。今年も多くの方に参加していただき、たくさんの方の笑顔やイベントの様子を撮影しました。
今月号から新しいコーナーとして、大熊町の復興をサポートをしている復興支援員の活動内容を紹介していきます。
さまざまなイベントなどが町の活力となって、今後受け継がれていくことを願っています。(三瓶)

— 編集後記 —

人のうごき

令和7年8月末現在

住民基本台帳

人 口 9,878人

世帯数 4,177世帯

町内居住者数

人 口 1,502人

(うち帰還者319人)



居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。

町内の空間線量

(令和7年9月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名		空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設		0.10
大熊町役場		0.08
福島給食センター		0.14
やすらぎ霊園		0.07
野上二区地区集会所		0.51 *
インキュベーションセンター (旧大野小学校)		0.13
大熊町保健センター		0.29
大野駅		0.13
大熊町文化センター		0.31
旭台公園		0.30
学び舎ゆめの森		0.12
大和久区地区集会所		0.35 *
町区集落センター		0.48
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中のため直近の計測データを記載しています (令和7年6月10日午後3時時点)



神無月
October

おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字 (①など) は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



可燃・紙



不燃・カン



ビン



ペット・プラ



▲分別方法は
こちらから

南部衛生センターごみ受入日 午前8:30～11:30

日	月	火	水	木	金	土
【実施団体】 ♪ 主なイベント ◎ その他 ■ 各コミュニティ団体 ♣ 保健センター ● 出張所・連絡事務所 ● おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは予約が必要です)			1 ◎ おおくま希望の翼インテンスーププログラム18+募集開始⑮	2 可燃・紙	3 ペット・プラ	4
5 	6 可燃・紙	7 ♣ 家トレ教室⑮★ ★ ♣ 乳幼児健診⑮	8 ビン	9 可燃・紙	10 ペット・プラ	11
12 	13 スポーツの日 可燃・紙	14 	15 ♣ ノルディックウォーキング⑮★	16 可燃・紙	17 ペット・プラ	18
19 	20 可燃・紙	21 	22 不燃・カン	23 可燃・紙	24 ◎ 里親入門講座⑮★ ペット・プラ	25 ◎ Out of KidZania in ふくしま相双(～26日)⑭ ■ おおがわら会⑮★
26 	27 可燃・紙	28 ■ 大熊町いわき会⑮★ ● 子育てひろば⑮★ ♣ 家トレ教室⑮★	29 ♣ 保健センター開放日⑮	30 可燃・紙	31 ◎ 子育て世帯向け賃貸住宅募集締切⑭ ◎ 里親入門講座⑮★ ペット・プラ	

駅西交流エリア



大川原交流ゾーン



OIC



まちづくり公社



社会福祉協議会

